

Question.

自閉スペクトラム症の子どもが当院へ来院しました。診察時、コミュニケーションがうまく取れず、子どもへ強く当たってしまいました。とても反省していますが、どのように対応すれば良かったのか分かりません。今後のため、自閉スペクトラム症について教えてください。

質問者

(宮城県 S.R.さん・86回)

Answer.

自閉スペクトラム症には、コミュニケーション障害や固執といったさまざまな特性があります。その特性が歯科診療を困難にさせています。歯科診療を円滑に行うにあたり、まずは自閉スペクトラム症の特性について理解することが大切です。

定義

自閉スペクトラム症はDSM-5において、①複数の状況で社会的コミュニケーションおよび対人的相互反応における持続的な欠陥、②行動、興味、または活動の限定された反復的な様式、2領域に集約されると定義されています。つまり、コミュニケーションの困難さと、自分の興味や手順などへの強いこだわりがあるということが診断基準となっています。

原因

自閉スペクトラム症は先天的な脳機能障害と考えられています。原因として遺伝的な要因などが挙げられていますが、現在まで詳細は明らかになっていません。過去には保護者の不適切な養育が原因と考えられていましたが、この考えは多くの研究によって否定されています。

特徴

言語によるコミュニケーションばかりではなく、表情や身振り、視線などの非言語的コミュニケーションにも著しい障害があります。よって、対人関係を理解することや、調整することが苦手です。また、こだわりが強く、手順やルールの変更を嫌います。同じ行動を繰り返す性質があるため、はじめての場所(人、こと)に対して強い抵抗を示します。

口腔内所見

自閉スペクトラム症に特有な口腔内所見はありません。しっかりとした口腔内管理がなされていれば、う蝕や歯周疾患の罹患は少ないといえます。ただし、甘味食品へのこだわりが強いと、全顎的



図1 ミルクティーの常飲により、全顎的な歯の脱灰がみられる

な脱灰がみられる場合があるので注意が必要です(図1)。

歯科的対応

歯科診療で一般的に応用されているオペラント条件付けや系統的脱感作法といった各種の行動変容技法は、自閉スペ



図2 見通しを伝えるため、スケジュールを提示している

クトラム症にも有効です。また、自閉スペクトラム症の専門的対応として療育という手法があります。これには、さまざまな手法がありますが、歯科領域においてはTEACCH (treatment and education of autistic and related communication handicapped children) が普及してきています。TEACCHとは、自閉スペクトラム症および関連するコミュニケーション障害児のための治療と教育のためのプログラムです。自閉スペクトラム症では、始まりから終わりまでの手順が分からないと不安になる傾向があります。TEACCHの応用例として、時系列に並べた写真や絵カードを視覚支援ツールとしたスケジュールの構造化が広く用いられています(図2)。しかしながら、行動変容技法やTEACCHにも限界があります。コミュニケーションが困難で、治療に対して非協力的な状況が続く場合には、無理をせず身体抑制法、鎮静法、全身麻酔への移行を検討してください。

参考文献

- 1) 本田秀夫：自閉症スペクトラムがよくわかる本，講談社，東京，2015。
- 2) 日本障害者歯科学会編：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科，48-52，医歯薬出版，東京，2017。
- 3) 高橋三郎，大野 裕 監訳：DSM-5® 精神疾患の分類と診断の手引き，26-29，医学書院，東京，2014。
- 4) 新谷誠康 ほか：小児歯科学ベーシックテキスト，373-376，永末書店，京都，2016。

質問の回答者



さんべい しんや
三瓶 伸也

新潟病院

小児歯科/障害児・者歯科センター